

整理番号 2022M-002
補助事業名 2022年度 自転車競技の競技運営力向上に資する装置・機器に関する調査
研究事業 補助事業
補助事業者名 一般財団法人 日本サイクルスポーツセンター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

伊豆ベロドロームにおいて、複数台のビデオカメラを使用することにより、トラック全体で選手のゼッケンが確認できる判定ビデオ装置を開発することにより、競技大会での判定業務が改善されることが期待される。これまでのシステムでは違反行為の場面を探す作業に手間がかかっていたが、全体俯瞰撮影できるカメラと複数台の判定用カメラを同期することにより判定に費やす時間の短縮が図れる。また、競技大会での判定だけではなく、ナショナルチーム等が日々の練習の中で取り入れている走行分析にも活用することが期待できる。

(2) 実施内容 <https://www.csc.or.jp/subsidized-projects/>

本事業年度内に完了することができたが、半導体不足による資材調達が不透明であったことから開始時期が遅れ、また資材の高騰とソフトウェア開発・改造の増額などにより、一部使用機材の変更を余儀なくされた。そのほか、事業実施に係る委員会における実施方法の検討及び委託先の決定など、計画どおり実施することができた。

【使用機材】・詳細確認用カメラ 10台・全体俯瞰8Kカメラ 1台
・全体俯瞰用4Kエンコーダ 1台・映像管理サーバー 1台
・検証用詳細確認用カメラドライバ開発・既存判定システム等支援用ソフトウェア改造ほか

【成果物】 実施結果報告書

<https://www.csc.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/05/af444edae7f265802fb47e3e26143939.pdf>

2 予想される事業実施効果

ビデオ判定支援装置の開発により、従来のシステムでは違反行為の場面を探す作業に手間が掛かっていたが、全体俯瞰撮影できるカメラと複数台の判定用カメラを同期することにより、トラック全体で選手のゼッケンが確認できるようになったことにより、判定に費やす時間を短縮することができた。このシステムにより、今後は競技大会での判定業務が改善されることが期待される。さらに、競技大会の判定だけではなく、選手の走行分析にも活用することが期待されるため、このシステムは競技界において大きな貢献を果たすことが期待される。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

実施結果報告書 (ビデオ判定支援装置に関する調査研究)

<https://www.csc.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/05/af444edae7f265802fb47e3e26143939.pdf>

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人日本サイクルスポーツセンター

(イッパンザイダンホウジンニッポンサイクルスポーツセンター)

住所： 〒410-2402

静岡県伊豆市大野1826番地

代表者： 平柳 豊 (カイチョウ ヒラヤナギ ユタカ)

担当部署： 総務部 経理課 (ソウムブ ケイリカ)

担当者名： 経理担当課長 土屋 博良

(ケイリタントウカチョウ ツチヤ ヒロヨシ)

F A X : 0558-79-0908

E-mail : csczaimu@csc.or.jp

U R L : <https://www.csc.or.jp>